



榎原学区

KATAGIHARA

DATA

人口 14,627人

世帯数 6,211世帯

面積 1.864km²

※平成27年国勢調査
(平成27年10月現在)

学区・地域の紹介

榎原は東西に走る丹波街道（山陰街道）の宿場町として古くから栄え、学区には今も参勤交代に使われた本陣や町家などの伝統的な街並みや寺社が数多く残っており、京都市の西京榎原界わい景観整備地区に指定されています。



西京区制40周年におもう

今から40年前、桂川以西地域一帯が右京区から分離独立をして西京区として誕生しました。その当時、人口は9万人でしたが、今日では15万人の人口と大学や専門学校などを有し、洛西ニュータウンをはじめベッドタウンとしても有数の地域として発展しました。

その西京区は歴史や文化、自然に恵まれた豊かな地域でもあります。しかし、これからの西京区を展望したとき、さらなる発展と同時に新たな課題も生じてくることでしょう。「安心・安全に暮らせる西京区」、「住んでよかったと思える西京区」のために、行政と西京区民が一体となって取り組んでいくことに、次世代に引き継ぐ私たちの役割があるのではないかと考えております。

(榎原自治連合会 会長 植月 徹)

発展し活気のある榎原

榎原は古くから発展した地域で、それを代表する一つが7世紀中頃建立された古代寺院です。現在は廃寺で「史跡公園」として特別史跡に指定されています。私たちはこの史跡を後世に残すために、毎年多くの人々と共に子どもたちにも参加していただき、年に3回、一斉清掃をしたり、その都度、関係団体などによる清掃活動を行っています。

榎原は近年、子育て世代を中心に人口が増加し、現在は1.5万人近くを数え、小学校には約780名の児童が学ぶなど、広範な住宅地域として発展しており、24の自治会が加盟する大きな自治連合会です。

「榎原夏まつり」は、全自治会参加のもと小学校のグラウンドが人々で溢れる一大イベントです。榎原では以上のような個性ある取組をはじめ敬老会など多くの取組を行っている活気のある地域です。

(榎原自治連合会 副会長 入江 嘉明)



『榎原』に由来する榎の大木



第2回史跡公園一斉清掃



榎原夏まつり

年間行事	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	・榎原小学校教職員歓迎会 ・自治連合会総会	・榎原まつり(子ども神輿巡行 三宮神社)	・防犯推進委員会総会	・行政区要望事項とりまとめ ・榎原小学校施設管理委員会	・史跡公園一斉清掃	・敬老会開催 ・史跡公園一斉清掃	・学区民体育祭	・西京区民ふれあいまつり ・榎原自主防災訓練	・史跡公園一斉清掃 ・年末防犯パトロール	・榎原消防分団出初式	・次年度各役員等選出準備	・事業報告・決算報告 ・夜間パトロール

次世代を担う方のコメント

多様性に満ちた榎原

旧山陰街道沿いにひろがる榎原は、今でこそ少なくなりましたが豊かな田園風景や美味しい筍のとれる竹林があり、京大の桂キャンパスも近くにある、自然豊かな文教地域です。マンションや商業区域もある一方で、歴史ある町並みや遺跡もあります。多様性に満ちた広い校区が子育ての理想的環境であるからこそ、榎原小中学校の児童・生徒数はとても多く、運動会や発表会は壮観です。

(榎原小学校 PTA 吉田耕太郎)

ぼくの好きな行事

ぼくの好きな行事は「わくわくランド」と「おもちつき」です。「わくわくランド」は児童館がやっている行事です。特に好きなのはファンシーショップです。ぼくは手動式小型扇風機が当たりました。扇風機はおばあちゃんにあげました。「おもちつき」は少年補導の人たちがやってくれます。何回も列にならんでおもちをもらいます。友だちと「何回食べた〜?」と聞きあうのも楽しいです。一番おいしい行事です。

(榎原小学校 3年 大谷 眞尋)

学区の誇り

榎原が岡村と言われていた時代から人の集まりである講がいくつかあり、岡村八講といわれていました。特に三ノ宮神社の春の祭りにおいて明神講が運営していた神輿は町の活気の象徴で、今も人々の誇りです。

(榎原自治連合会 副会長 端 清隆)

PHOTO GALLERY



榎原まつり



敬老会



自主防災訓練



榎原夏まつり

学区・地域の紹介

KATAGIHARA